【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： BRST-139

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
乳がん (PD-L1陽性 TNBC)	Pembrolizumab +CBDCA/GEM	21日間	規定なし	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	中	Cortes J et al.Lancet 2020:396:1817-1828

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓																				
④	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 50mL	点滴静注	5分	↓							↓													
⑤	ゲムシタビン 生理食塩水	1000mg/㎡ 100mL	点滴静注	30分	↓							↓													
⑥	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC2 250mL	点滴静注	60分	↓							↓													
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	全開	↓							↓													
※【6週間間隔で投与する場合】キイトルーダ200mg→400mgへ変更																									

＜注意事項/備考＞

- ✓ Pembrolizumab：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ GEM：血管痛、皮疹に注意
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口渇、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意。来院時には血糖の測定を
- ✓ 大腸炎、下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にＴＳＨ、ＦＴ３、ＦＴ４などの検査を